

スプリングカメラ



ベビー・シビル  
1921年 (明治45年) イギリス



2Aフォールディングで撮影する酒田美人



2Aフォールディングオート  
グラフィック・プロネー  
1915年 (大正4年) アメリカ



リノフスーパーテニカ  
4×5 1950年 (ドイツ)

超小型カメラ



ミゼット  
1937年 (昭和12年) 日本

グッチー  
1938年 (昭和13年) 日本

ボックスカメラ



ALL-DISTANCE  
・ENSIGN  
1912年 (イギリス)

620プロネー・ジュニア  
1934年 (昭和9年) アメリカ

今回「クラシックカメラ展」開催にあたって、胤保の子孫にあたる松森昌保氏、またクラシックカメラを出品していただいた樋口信義、矢野博見、工藤靖男、斎藤一、土田仁志、池田春生の諸氏、鶴岡市郷土資料館、光丘文庫の方々の全面的な協力をいただきました。厚くお礼申し上げます。

STEREO  
Realist  
1945年 (7×リカ)



スプリングカメラ

1929年 (昭和4年) ドイツ  
1932年 (昭和7年) ドイツ  
1935年 (昭和10年) ドイツ  
1939年 (昭和14年) ドイツ



一眼レフカメラ



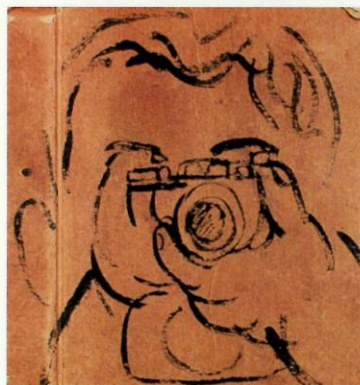
ニコン  
1959年 (昭和34年) 日本

アサヒ77カメラ  
1952年 (昭和27年) 日本

1926年 (大正15年) イギリス  
1950年 (昭和25年) 東ドイツ  
T.P.ジュニア・スペシャル  
リトル・ブルックス  
エキザクタ・VX



一眼レフカメラ



石原亮爾が写真アルバムに描いた  
ライカI(A)型 (鶴岡市立郷土資料館蔵)



ライカA型 (ドイツ)

クラシックカメラ展

— 庄内の写真の草分け松森胤保 —

カメラのあゆみ

第100回企画展



ピットビル湿板カメラ  
万延元年 (1860年) R・ジェフリー (イギリス)

酒田市立資料館

酒田市立資料館 酒田市一番町8-16 TEL02342416544

開催期間 平成10年9月20日(日)～平成10年11月29日(日)  
開館時間 午前9時～午後4時30分  
入館料 大人100円 児童・子供50円  
65歳以上の方と身体障害者の方は無料  
休館日 なし

組立暗箱



松森胤保 元治2年(1865年)2月9日  
江戸松山藩邸で撮影(ガラス板)



サンダーソン・ポリマー組立暗箱  
1905年(明治38年)イギリス

開催にあたって

カメラは今や一家に何台もの時代といわれ若年者から高齢者まで、大変なじみの深いものとなっています。成長の記録や思い出づくり、また報道写真や貴重な記録写真として個人にとっても社会にとってもなくてはならないものになっています。

この度、カメラの原点でありますクラシックカメラを企画展として取り上げてみました。多くの人々が苦心のすえ作られた世界各国の数々の珍しい貴重なカメラや、庄内の博物学者松森胤保の写真鏡との出会い、また郷土酒田の写真館の収蔵品をご覧頂き、カメラについての一層のご理解とカメラを通してこころ豊かなひとときをお過ごし頂きたいと思ひます。

今回の開催に当たり、貴重な資料をこころよくご出品頂きました方々に厚く御礼申し上げます。



日本写真術の鼻祖  
下岡蓮杖

ハンドカメラ



ランカスター・インスタントグラフ  
1889年 イギリス

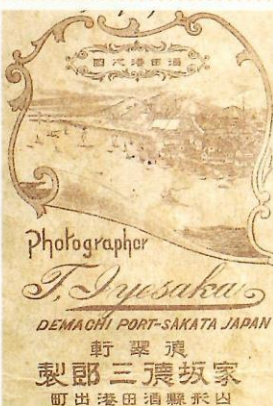


トロピカル・サンダーソン  
1909年(明治42年)イギリス

酒田の写真館

- 徳聖軒 出町 家坂徳三郎(初代) 明治十八年昇(二代)
- 池田写真館 船場町池田小路 池田亀太郎(初代) 正吉(二代)
- 玉影堂 下台町(天宮下に移る)、若林 霊災で来る 池田まさ
- 美影堂 秋田町 金蔵(初代)
- 華影堂 新町(下通り横町) 余目から来た佐藤宗吉
- 松山写真館 明町(明治二十七年迄)
- 土田写真館 今町(始め本町に、昭和三年生撞場(ビリヤード)に、昭和八年現在地、土田喜一郎(初代)
- 斎藤写真館 下台町(藤山医院の前)
- 沢写真館 今町 斎藤写真館の弟子がカメラ屋から写真屋に
- 三笠写真館 寺町 池田(初代)
- 梅野写真館 本町(亀屋菓子店に開業、昭和十五年)御成町 梅野卓郎(初代)
- 榎本写真館 秋田町(中川屋の前) 今は旧外野町 榎本連之助(初代)
- 伊藤写真館 下台町(港屋近く「ひやう」山形の人)
- 長谷川写真館 米屋町(亀米の隣)

スタジオカメラ



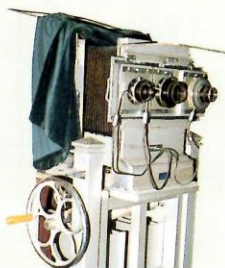
Photographer  
T. Iyosaka  
DEMACHI PORT-SAKATA JAPAN  
軒翠浪  
製郎三浪坂家  
町出港田酒縣飛出



八切判スタジオカメラ  
(個人蔵) 日本



感謝号4号写場用暗箱  
大正10年(浅沼商会) 日本  
(個人蔵)



写場用暗箱 日本  
長岡製作所 (個人蔵)



クルト・ペンギン組立暗箱(ドイツ)  
大正13年(1924年)、石原莞爾がベルリンにて求める  
(鶴岡市立郷土資料館)



サンダーソン・S(ドイツ)

フォーカルプレーンシャッターカメラ



ライカA(I)型  
1925年(大正14年)ドイツ



石原莞爾(鶴岡市郷土資料館)

大正14年ドイツに留学していた石原は、ライカA型を買い求めた。その番号は500番以内であったといわれる。ライカ使いの日本人第1号は石原將軍ということになる。石原は友人に「これがライカという35ミリカメラだ。いまに将来のカメラは、全部こうなるぞ」と予言したという。石原の見通しは当たったのである。



キヤノンIVSb  
1952年(昭和27年)日本



コンタックスII  
1935年(ドイツ)



ニコンS2  
1954年(昭和29年)日本



ライカM3  
1954年(昭和29年)ドイツ



ライカ使いの木村伊兵衛  
酒田宮野浦渡船場にて  
昭和31年8月 大内隆氏撮影

レンズシャッター



コンテッサ  
(1950年)西ドイツ



レチナIIIc  
(1954年)西ドイツ



ピテッサ  
(1951年)西ドイツ